

大地震が発生したらまず自分の身を守る
揺れが収まったら真っ先に火の始末で火災防止

2017年6月22日発行
柳谷戸支隊 情報・広報班

7月2日（日）は柳谷戸支隊の防災訓練！



災害発生時に速やかに行動するには
日頃から防災機材・備品等に慣れておくことが大切です。

今年も防災訓練の夏がやってきました。各支隊で開催するこの訓練と秋に自治会全体で開催する総合防災訓練をセットにして毎年繰り返して練習してきましたが、ぐらっと来たときにまず何が頭に浮かびますか。見て触れて動かすことが出来たからといっても一年に一回の経験です。同じ内容でも繰り返し練習することが大切です。今年も昨年と同様に柳谷戸支隊（小川4丁目自治会員）の皆さん全員に防災訓練を体験して頂くことにしました。ぜひ参加してください。

1. 開催日時： 2017年7月2日（日）午後1時10分より3時 小雨決行
2. 開催場所： 「柳谷戸公園」（柳谷戸支隊の『一時(いっとき)避難場所』です）
3. 訓練内容：
 - 1) スタンドパイプによる放水訓練（消防）
 - ① 消火栓の開閉、② 状況確認・伝達、③ ノズル操作（放水）
 - 2) 訓練用消火器による放水訓練（消防）
 - 3) 三角巾の取り扱い訓練（消防）
 - 4) 防災倉庫機材・機材・備品の使用訓練
 - ① 簡易トイレ、② リヤカー・担架・車椅子、③ 発電機・投光機

（消防）：消防署の隊員が教えてくださいます

『震度5強以上の揺れが収まったときは』のテスト

7月2日(日)は柳谷戸公園で防災訓練ですが、これが「本物の大地震で柳谷戸公園に集合するために自宅を出るのだったら、あなたは何をしなければならないか」を思い出してください。

1	①～⑩のうち、自宅を留守にする前に実行せねばならない項目を選んでください。 ただし火災はなく、すぐに自宅へ戻ることができる状況にあるものと仮定します。			
	①「無事です」の旗を道路側に掲げる。	②玄関を含めて戸締りを厳重にする。	③配電盤のブレーカーを落とす。	東京防災 p 042 避難の判断
	④非常用持ち出し袋を持ち出す。	⑤携帯電話等で状況連絡する。	⑥備蓄品の内容を確認する。	東京防災 p 046 避難時の注意
	⑦安否メモを玄関ドアに貼って残す。	⑧近所に声をかけて安否を確認する。	⑨ガスの元栓を閉める。	東京防災 p 128 安否確認情報収集

必要があるのは①②③⑧⑨(場合によっては⑤⑦も)、④⑥は後でも間に合います。
右端列にある東京防災のページを読んで参考にしてください。